

ソフトウェアマニュアル

グラインド・バイ・シンク

E65W GbS/E80W GbS および E65T GbS /E80T GbS

目次

一般事項	4
1 ユーザープロフィール	5
1.1 製造後および初回電源投入後のデバイスセットアップ	5
1.2 一般的なユーザーインタラクション	7
2 グラインダーHMI - 機能	8
レシピ編集 (クイック編集DD)	8
メインメニュー	8
2.1 レシピ	9
2.2 アラートと通知	12
2.3 一般設定	12
2.4 グラインダーの設定	13
2.5 サービス	14
2.5.1 ディスク距離の校正	15
2.5.2 工場出荷時設定にリセット - リセット	15
2.5.3 システム診断	15
2.6 接続性	17
2.6.1 WiFi設定:	17
2.6.2 クラウド設定:	18
2.6.3 マシンツーマシン:	18
2.7 ユーザー管理	18
2.8 情報	19
2.8.1 制作日:	19
2.8.2 統計:	19
2.8.3 レシピ統計:	19
2.8.4 重量ベース:	19
2.8.5 マニュアルベース:	19
2.8.6 時間ベース:	19
2.8.7 グラインダー統計:	20
2.9 アラートと通知:	20

3 Webユーザーインターフェース - 機能.....	20
3.1 グラインダーを既存のネットワークに接続する（ステーションモード）	21
3.2 グラインダーをデバイスに接続する（アクセスポイントモード）	22
3.3 Webユーザーインターフェース.....	22
3.4 ソフトウェアアップデート.....	24
3.5 テストページ.....	25
4 インタラクションアイコン.....	26
レシピアイコン.....	26
ステータスアイコン.....	27
メニューナビゲーション.....	27
インタラクションツール.....	28
キーボード	28
数値の変更.....	29
アイコンを有効にする	29

一般的な

このマニュアルはリリース 1.30 に基づいており、同じ電子ハードウェアとソフトウェアを共有する E65W GbS/E80W GbS および E65T GbS/E80T GbS の各製品に適用されます。

このマニュアルの目的は、メニューの操作方法をユーザー向けに解説し、利用可能な機能とその効果的な使用方法を説明することです。具体的には、以下のトピックを取り上げます。

1. グラインダーの最初のパワーアップ

このセクションでは、デバイスの初回電源投入手順をステップバイステップで説明します。グラインダーの接続方法、電源が適切に供給されているかの確認方法、そして電源投入プロセスを開始する方法について説明します。

初回電源投入後、グラインダーの設定をご自身のニーズに合わせて調整することが重要です。これには、挽き具合の調整、量の調整、そして必要に応じて外部デバイス（アプリやモニタリングシステムなど）の接続が含まれます。

2. メニューの操作

デバイスのメニューの操作方法、利用可能なオプション、そして日常的な使用を最適化するための設定変更方法について詳しく説明します。また、このセクションでは、好みに合わせてデバイスをカスタマイズするためのヒントも紹介します。

3. ソフトウェアのアップデート

新しいソフトウェアリリースは、Mahlkönig Sync Cloud から入手できます。グラインダーは、ユーザーの好みに応じて、ソフトウェアアップデートのダウンロードとインストールを自動または手動で設定できます。

詳細については、「ソフトウェアダウンロード」セクションを参照してください。

4. 同期によるグラインド

Grind by Syncグラインダーは、クラウドソークラウド、Wi-Fi、ケーブル接続など、様々な方法で他のコーヒーマシンと接続できるように設計されています。接続すると、エスプレッソマシンとグラインダーの間でデータが交換され、挽き具合が自動的に調整されます。ショットの抽出速度が速すぎる場合（粗挽き）、グラインダーのアルゴリズムが挽き具合を調整します。ショットの抽出速度が遅すぎる場合（細挽き）、グラインダーは挽き具合を調整します。

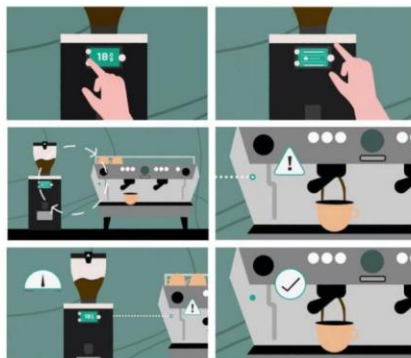


図1: Grind by Syncテクノロジーで使用するデバイスの概略図

1 ユーザープロフィール

役割	パスワードの説明	
所有者 (デフォルト)	1924	サービスメニューを除くすべてのメニューにアクセスできます
サービス	1311	サービスメニューへのアクセスを提供します
バリスタ	-	研磨のみのアクセス制限あり 変更はできません（挽き具合を除く）

1.1 製造後および初回電源投入後のデバイスセットアップ

グラインダーの電源を初めて入れたとき、またはディスプレイを交換したとき、最初に表示される画面はアセンブリページです。詳細はサービスメニューで説明します。グラインダーの電源を入れたら、以下の手順に従ってください。サービスメニュー/サービスと診断

- 組み立て日を決める
- グラインダーのシリアル番号を入力します（この番号がタイププレートに記載されているとおりであることを確認してください。そうでない場合は、Wi-Fiとクラウドへのオンボーディングプロセスは機能しません）
- グラインダーの種類（グラインダーモデル）を選択します。
- グラインダーのサブタイプ（エスプレッソ）を選択します。
- テストページにリストされている各コンポーネントについて、赤色の表示がないことを確認してください。
センサー、またはアイテムが正しく取り付けられていないか、キャリブレーションされていないことを示します。テストページで各アイテムをテストすることもできます。完了したら、「テストを終了」をクリックしてください。
- サービスメニューの「ディスク距離（DD）」に移動し、説明されている手順に従って調整します。
ディスクの距離
- 1kgのロードセルを使用してロードセルを校正します。
- さらに、新しいディスプレイの場合は、後述するWi-Fi接続手順に従ってください。
このメニューの下にある

ASSEMBLY DATE

Assembly Date 2025-03-12

Set to Today >

組立日/組立日を設定または表示します。選択すると、選択内容を確認するためのアラートが表示されます。確認すると、組立日が決まりました。

MACHINE CONFIGURATION

Grinder SN 653470

Grinder Type E80W GbS

Grinder Subtype Espresso

マシン構成: シリアル番号とグラインダーのタイプを表示します。

HOPPER TEST

Hopper Status Mounted

ホッパーの状態: (取り付け済み/取り外し済み)

NOZZLE LIGHT

Nozzle Light Test 0

ノズルライトテスト: (オン/オフ) ライトをオン/オフにして、機能するかどうを確認します。

LOAD CELL

Current Weight -0.2g

Calibrate >

ロード セル: 選択すると、このセクションの冒頭で説明したロード セル - キャリブレーションが表示されます。

DDD SENSOR

Sensor type Analog

Calibrate >

DDD value 97µm

DDDセンサー: 選択すると、このセクションの冒頭で説明したDDDセンサーのキャリブレーションが表示されます。使用されているセンサーがアナログセンサーかデジタルセンサーか、そして測定値 (ミクロン単位) が表示されます。

AGSA

AGSA Test 0

Encoder value -748

Status Failed

AGSAテスト: AGSA モーターを時計回りと反時計回りに数回回転させてテストを実行します。テスト終了時に、モーターの状態とエンコーダの値 (ミクロン単位) が表示されます。

GRINDER MOTOR

Motor Test 0

モーターテスト: (オン/オフ) モーターを短時間オンにして、正常に動作するかどうかを確認します。

FAN TESTS

Fan 1 25.5°C 0.0%

Fan 1 Test 0

Fan 2 25.5°C 0.0%

Fan 2 Test 0

ファンテスト: ファンのテストを50%で実行します。テストが完了すると、記録された温度が表示されます。

WIFI CHIP STATUS

COM Status OK

SDIO Status Running

UART Status OK

Fuse Status OK

Reset Chip >

Flash Chip >

WiFi チップのステータス: WiFi システムで使用されるいくつかのコンポーネントのステータスを表示します。

チップのリセット: チップを再起動できます

1.2 一般的なユーザーインタラクション

電源スイッチでデバイスの電源を入れると、図2（左）に示すロゴが表示されます。数秒後、HMが読み込まれます。この間、LEDライトが点滅し、図1（左）に示すようなディスプレイ画面が表示されます。

デバイスの電源を入れると、ソフトウェアはデフォルトでほとんどの設定にアクセスできる所有者によって使用されるように設定されます。アクセスを制限するには、「1 ユーザープロファイル」を参照してください。

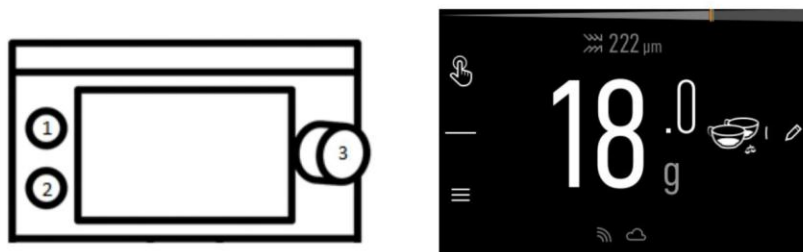
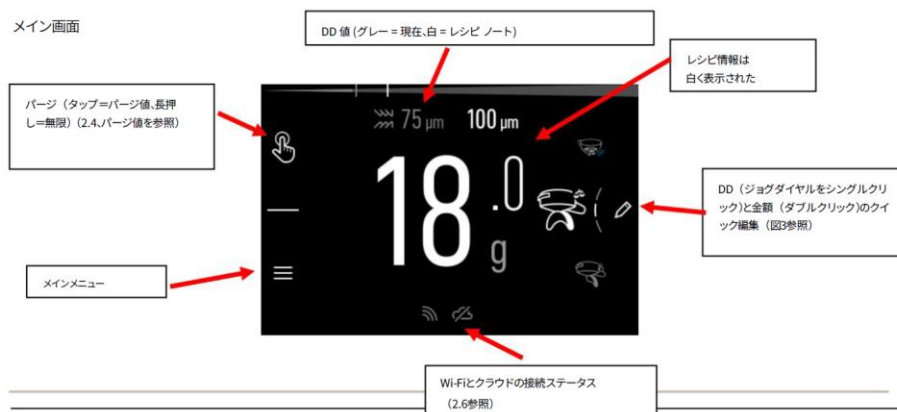


図 2.左: ディスプレイ ボタン (1 と 2) とジョグダイヤル (3).右: ホーム メニュー画面。

以下は、メインメニューのアイコンの意味と、インタラクションボタンを使ったメニュー操作の様々な方法です。図1（右）を参考に、このマニュアルでは以下を記載します。

1. 左上のボタン。
2. 左下のボタン。
3. ジョグダイヤル。

メイン画面



2 グラインダーHMI – 機能

レシピ編集（クイック編集DD）

クイック編集 DFD は、選択した個々のレシピへのディスク距離を変更するために使用されます。
ジョグダイヤルを押してアクセスすることができ、図3のように表示されます。

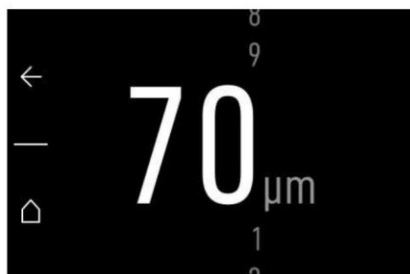


図 3; 単一レシピのクイック編集ディスク距離。

メインメニュー

左上のボタンを押すとメインメニューにアクセスできます。
主な機能はこのメニューにグループ化されており、図 4 に示すようにいくつかのサブメニューに整理されています。サブメニューの使用法については、以下で個別に説明します。

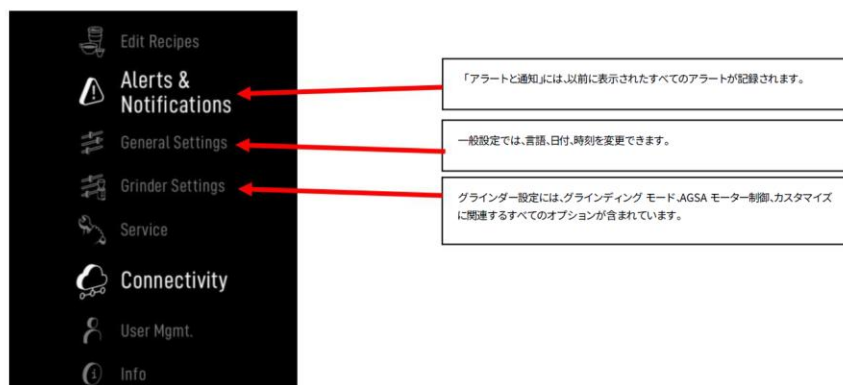


図4 メインメニューページに表示されるサブメニュー

2.1 レシピ

このメニューでは、レシピを編集したり、ホーム メニューに表示するレシピを決定したり、ポルタフィルターの認識を管理したりできます。



ポルタフィルター検出モードがアクティブな場合は、この状態で説明されているように、マシンに PF を記録することができます。

図5: レシピ編集メニュー

レシピ編集メニューには、最大6つのレシピを編集できます。各レシピには、1つの値、アイコン、スイッチがあります。最初の値はレシピの最も重要なパラメータを示し、時間ベース、重量ベース、または手動ベースのレシピとして定義できます。

右側のアイコンは、レシピに保存されているポルタフィルターのリマインダーとして選択でき、右側の最後の要素は、メインメニューにレシピが表示されているかどうかを示します。

レシピメニューの最後の項目はポルタフィルター管理セクションです。ジョグダイヤルでレシピを選択すると、図10に示すレシピメニューが表示されます。

ポルタフィルター管理 検知モードのオン/オフを切り替えます。検知モードがオンになると、検知モードの切り替えと保存されているポルタフィルターのリストを含むサブメニューが表示され、それぞれの数、重量、許容範囲が表示されます。検知モードが有効な場合、図のように同じメニューに「ポルタフィルターを追加」オプションが表示されます。

図8 (左)。

各レシピには、メインアイコンに加えて、各レシピの設定に関する追加情報を提供するための、メインアイコンに関連付けられたセカンダリアイコンがあります。セカンダリアイコンは、図7に示すように、レシピのモードに関連付けられています。表示されているレシピには、時計、スケール、針の3つの異なるアイコンがあり、これらは時間モード、重量モード、手動モードに関連付けられています。

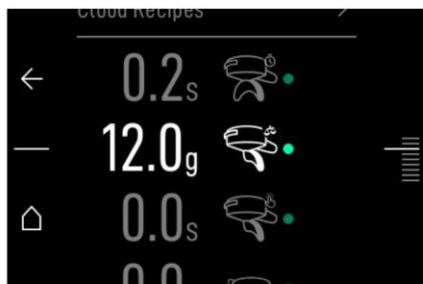
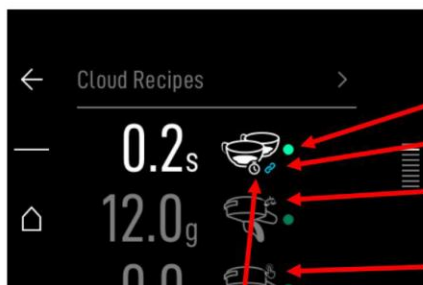


図6: レシピ編集メニュー、右上のアイコンに注目してください

前述の通り、スイッチでグランド・バイ・シンクモードを有効にすることができます。有効にすると、現在のDDとレシピDDを選択できる画面が表示されます。



緑色の場合、レシピはホームページに表示されます。

このレシピでは同期によるグランドが有効であり、このレシピでは有効です

時間モードレシピ

手動モードレシピ

図7: レシピ編集メニュー、上部の同期アイコンにフォーカス

時間モードレシピ

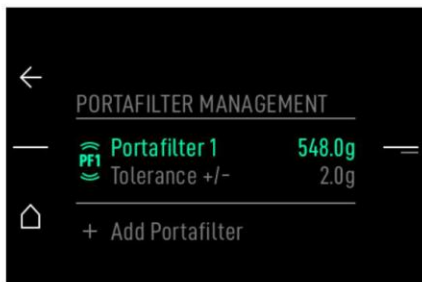


図8: (左) ポルタフィルター管理メニュー (左)、(右) ポルタフィルター重量値ページ

「ポルタフィルターの追加」オプションを選択すると、図8（右）に示す新しいページが表示されます。ポルタフィルターを挿入すると、ロードセルを通して重量が測定されます。重量が保存済みのポルタフィルターの許容範囲内であれば、図9（左）に示すアラートが表示されます。値が保存済みのポルタフィルターの重量と重複しない場合は、図9（右）に示すように、新しいポルタフィルター管理ページが作成され、保存されます。このページには、ポルタフィルター番号、重量値、編集可能な許容範囲、および削除オプションが表示されます。

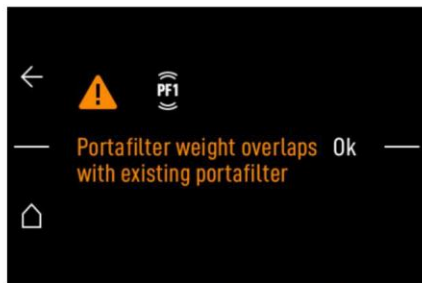
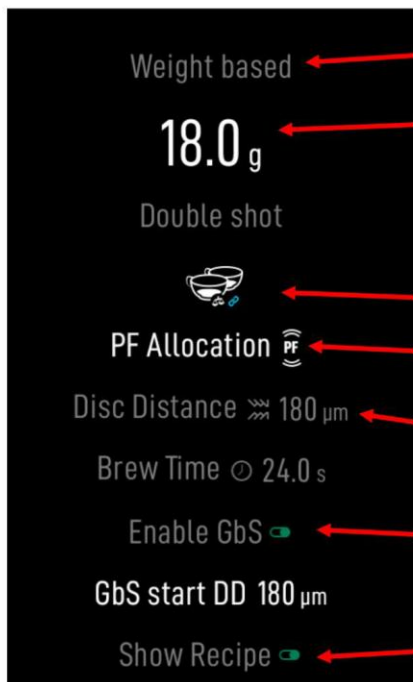


図9: (左) ポルタフィルター管理アラート。(右) ポルタフィルター1管理ページ



手動ベース/重量ベース/手動: レシピの基本モードを変更します。

X.xx g / X.xxg / X 投与量: レシピのメインパラメータの値を編集します。手動モードでは、レシピ名が表示されます。

アイコン: レシピに関連付けられたアイコンを変更します。

PF割り当て: 保存済みのポルタフィルターの中から、レシピに関連付けるポルタフィルターを選択します。詳細は、このセクションの「ポルタフィルター管理」の項で後述します。

ディスク距離: 参照 DD をミクロン単位で設定します。

醸造時間: 醸造時間の値を保存します (同期による粉砕)。

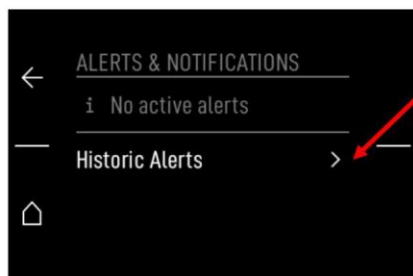
GbS を有効にする: Grind by Sync モードを有効にします。

レシピを表示: ホーム メニューにレシピを表示します。

図10: 単一レシピメニュー

このメニューには、単一のレシピを設定し、その表示に関連する設定を決定するために使用されるすべての機能、モード、およびパラメーターがあります。

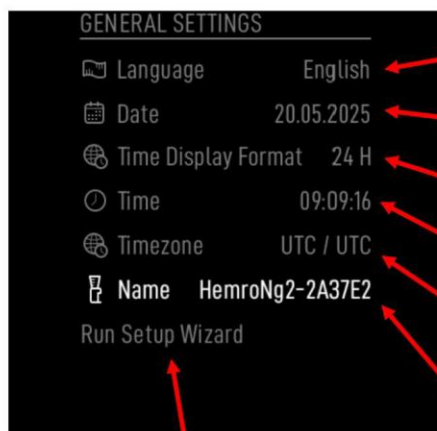
2.2 アラートと通知



過去のアラート(最新のものから最も古いものまで記録されたアラートを確認することができます。

図11: アラートと通知メニュー

2.3 一般設定



言語:ユーザーインターフェース全体の言語を選択する

日付:日付を設定する

時間表示形式:データ形式を設定する

時間:時間を設定する

タイムゾーン:タイムゾーン情報を時間に含める
セット

名前:グラインダーの名前を設定します。グラインダーのWi-Fiにもそれに応じた名前が付けられます。

図12: 一般設定メニュー

WiFi および/またはオンボーディングのセットアップ ウィザードを実行します。

2.4 グライNDERの設定

GRINDING SETTINGS		
Disable Edit Recipe for Barista	0	バリスタのレシピ編集を無効にするバリスタがレシピを編集できない場合
Break Function	0	ブレイク機能: ブレイク機能は、粉碎プロセス中にブレイキをかけることができます (例: ボルタフィルターで粉を差す場合)。ブレイク機能を有効にすると、関連するブレイク機能の持続時間によって、ブレイキの持続時間が決まります。ショット中のブレイク・ショット中に取ることができるブレイク時間が決まります。
Break during shot (Time-based mode only)	1.0s	
Dose Timeout	1.0s	投与タイムアウト: レシピが粉碎された後、ディスプレイがホーム画面に戻るまで、グラムまたは秒単位の最終値が「投与タイムアウト」時間中表示されたままになります。
Purge Value	1.1s	パージ値/パージアクションは一定時間実行されます
Adjust Grind Time for Custom DD	0	カスタム DD のグラインド時間を調整: このオプションでは、選択したディスクの距離に応じて時間レシピが調整されます。
Manual Grind Display	Time	手動グラインド表示: 手動で挽いたときに表示される内容 (グラムまたは時間)
GBW SETTINGS		
Disable Load Cell	0	ロードセルの無効化: ONにすると、ロードセルの使用に関連するすべての機能が無効になります。ロードセルに不具合がある場合に使用します。レシピはジョグダイヤルを長押しすることで粉碎できます (時間ベースのレシピのみ)。
Show Actual Weight Only for Weight-Based	0	ライブ値を表示: ロードセルの値をリアルタイムで表示します。
Gbw Resolution	High	GBW 解像度: 最高精度を得るには「高」、少し遅くなる可能性があります。中、最高速度を得るには「低」、不安定な環境の場合は精度が低くなる可能性があります。
Brightness	7	明るさ: 画面の明るさのレベルを1 ~ 7の間で選択します。
Temperature Show on Screen	0	画面に温度が表示されます。アイコンがホームメニューに表示されます。
Permanent LED Lighting	0	
Standby Mode	>	常時 LED 照明: 固定された光で LED を点灯します。
		スタンバイモード次のページを参照
AGSA MOTOR SETTINGS		
Auto Adjust to Recipe DD	0	レシピ DD に自動調整: レシピが変更されるたびに DD を更新します。デフォルトではオンですが、無効にすることもできます。
Drive to Recipe DD on Startup	0	起動時にレシピDDにドライブ: グライNDERは電源を入るとレシピから元のDDに戻ります。
AGSA Blockage Warning Threshold	50µm	
Show Recipe DD	0	AGSA閉塞警告しきい値: しきい値に達すると警告が表示されます
		レシピDDを表示: レシピに設定されたDDを画面

図13: グライNDER設定メニュー

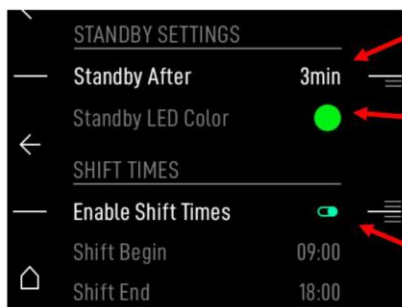


図14: スタンバイメニュー

「スタンバイ後」は、アクティビティがない場合にグラインダーがスタンバイ状態になるまでの時間を表示します。

スタンバイLEDの色はここで調整できます。図15を参照してください。

シフトタイムを有効にすると、グラインダーがスタンバイ状態にならない時間を設定できます。注意：これによりディスプレイの寿命が短くなり、保証の対象外となります。

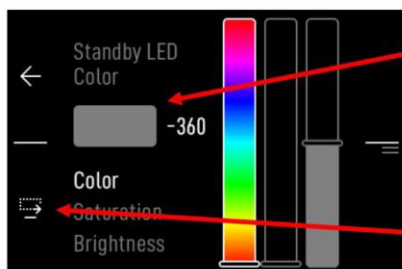


図15: スタンバイLEDの色設定

現在の設定がここに表示されます。

ボタン2で色から明るさへ切り替え

2.5 サービス

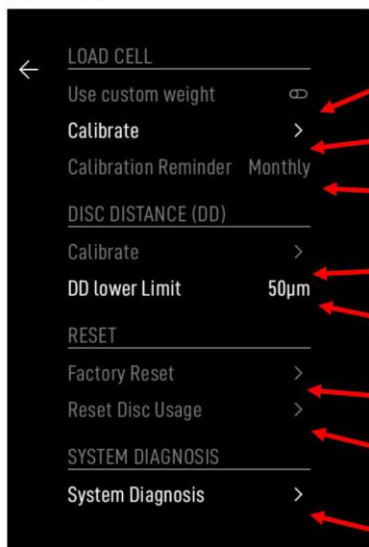


図16: サービスメニュー

カスタムウェイトを使用:

キャリブレーションロードセルのキャリブレーション手順にアクセスします。次のページを参照してください。

校正リマインダー: ロードセルの校正のリマインダーを設定します

キャリブレーション: この段階で説明されているディスク距離のキャリブレーション手順にアクセスします。

DD 下限: ディスクの損傷を防ぐために、ディスク距離の下限を設定します。ホームメニューで設定します。

工場出荷時設定にリセット: 出荷時設定に戻すことができます。2.5.2 を参照してください。

ディスク使用量をリセット: ディスク使用量カウンターを 0 に設定します。

システム診断: 2.5.3に示すテストパネルにアクセスします。

ロードセル - 校正:

図 17 に示すように、指定された手順に従ってロード セルを校正します。



図17: ロードセルの校正プロセス

ロードセルがスケールのゼロ点を評価できるように、フィルターホルダーは取り外し、ホルダーに接触しないようにする必要があります。基準重量が使用されると、グラインダーは重量測定器のキャリブレーションを実行します。このプロセスはキャリブレーションと呼ばれ、正しく完了すると画面で「キャリブレーション完了」と表示されます。

2.5.1 ディスク距離の校正

DDD キャリブレーション プロセスをガイドする手順にアクセスできるようにします。



図18: ディスク距離の校正プロセス

2.5.2 工場出荷時設定にリセット - リセット

工場出荷時の設定に戻ります。選択するとアラートが表示され、選択内容を確認できます。ただし、これによりすべての設定とレシビが削除されます。

緊急工場出荷時設定へのリセット: パスワードがデフォルトから変更され、紛失した場合、ハードキースettingsが可能です。-グラインダーからホッパーを取り外します

- グラインダーの電源を切る
- 両方のボタン (1と2)を押し、グラインダーの電源を入れながら15秒間押し続けます。
- グラインダーには、工場出荷時設定へのリセットを確認できる「工場出荷時設定へのリセット」ページが表示されます。

2.5.3 システム診断

このメニュー セクション (次のページの図 19 を参照) は、グラインダーのコントロール パネルを提供し、さまざまなコンポーネントのテストと結果の検証を可能にするように設計されています。

ASSEMBLY DATE

Assembly Date 2025-03-12

Set to Today >

MACHINE CONFIGURATION

Grinder SN 653470

Grinder Type E80W GbS

Grinder Subtype Espresso

HOPPER TEST

Hopper Status Mounted

NOZZLE LIGHT

Nozzle Light Test 0

LOAD CELL

Current Weight -0.2g

Calibrate >

DDD SENSOR

Sensor type Analog

Calibrate >

DDD value 97µm

AGSA

AGSA Test 0

Encoder value -748

Status Failed

GRINDER MOTOR

Motor Test 0

FAN TESTS

Fan 1 25.5°C

0.0%

Fan 1 Test 0

Fan 2 25.5°C

0.0%

Fan 2 Test 0

WIFI CHIP STATUS

COM Status OK

SDIO Status Running

UART Status OK

Fuse Status OK

Reset Chip >

Flash Chip >

組立日:組立日を設定または表示します。選択すると、選択内容を確認できるアラートが表示されます。確認すると、組立日が設定されます。

マシン構成:シリアル番号とグラインダーのタイプを表示します。

ホッパーの状態: (取り付け済み/取り外し済み)

ノズルライトテスト: (オン/オフ) ライトをオン/オフにして、機能するかどうかを確認します。

ロード セル:選択すると、このセクションの冒頭で説明したロード セル - キャリブレーションが表示されます。

DDDセンサー :選択すると、このセクションの冒頭で説明したDDDセンサーのキャリブレーションが表示されます。使用されているセンサーがアナログセンサーかデジタルセンサーか、そして測定値 (ミクロン単位)が表示されます。

AGSAテスト : AGSAモーターを時計回りと反時計回りに数回回転させてテストを実行します。テスト終了時に、モーターの状態とエンコーダの値 (ミクロン単位)が表示されます。

モーターテスト: (オン/オフ)モーターを短時間オンにして、正常に動作するかどうかを確認します。

ファン テスト: ファンのテストを実行し、完了バーを表示します。テストが実行されると、登録された温度が表示されます

WiFi チップのステータス: WiFi システムで使用されるいくつかのコンポーネントのステータスを表示します。

チップのリセット:チップを再起動できます

図119: システム診断ページ

2.6 接続性

接続メニューからは、グラインダーがネットワークに接続され、他のデバイスと連携できるすべての機能にアクセスできます。具体的には、図16に示すように、接続メニューから以下の操作が可能です。

いくつかの設定にアクセスします。

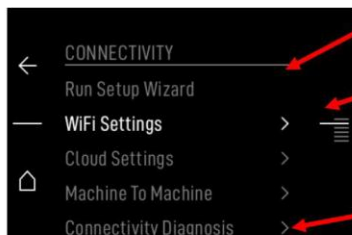


図20: WiFi設定メニュー

セットアップウィザード: Wi-Fi接続とクラウドオンボーディングの必要な手順をユーザーに案内します。

追加設定: 上級ユーザーが手動でWi-Fiとクラウド設定を変更する場合

接続診断: 接続が原因したとおり機能しない場合のトラブルシューティング ガイド(図 21 を参照)



図21: 接続診断

診断 : 診断ページには、グラインダーからクラウド（上から下）までのステータスチェーンが表示されます。エラーは赤色で表示され、その場所に向かう問題があることを示します。オレンジ色のテキストは、表示されている値につながる可能性のある設定を示します。

エントリをジョグダイヤルでクリックすると、トラブルシューティングの提案が表示されます。

2.6.1 WiFi設定:

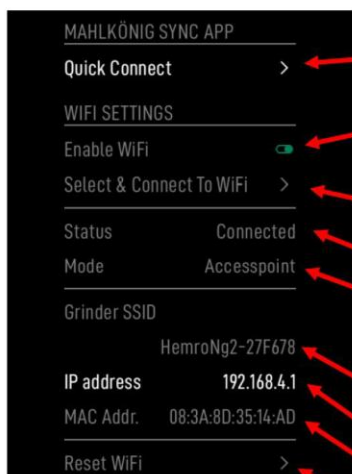


図22: WiFi設定ページ

クイック接続 : このオプションを使用すると、デバイスがアクセスモードの場合にQRコードを生成できます。デバイスはMahlkönigアプリに接続できます。

WiFiを有効にする: デバイスの WiFi 接続オプションを有効または無効にします。

WiFiを選択して接続 : WiFiシステムで使用されている複数のコンポーネントの状態を表示します。利用可能なWiFiネットワークのスキャンを開始します。見つかったネットワークは図23のようにリストに表示されます。

ステータス: WiFiネットワークへの接続ステータス

モード : デバイスがアクセスポイントモードかステーションモードかを表示します。デフォルトでは、デバイスはアクセスポイントとして設定されています。パスワード「kingxxxx」(xxxxはグラインダーのシリアル番号の最後の桁)を使用してデバイスに接続できます。

Grinder SSID: Wi-Fiネットワークの名前を表示します

IP アドレス: ネットワーク内のデバイスの数値識別子を表示します。

MAC アドレス: デバイスのネットワークカードに割り当てられた一意の識別子。

WiFiをリセット: すべてのWiFi設定をリセットします

Wi-Fiをスキャン/利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンを開始します。見つかったネットワークは図23のようにリストに表示されます。

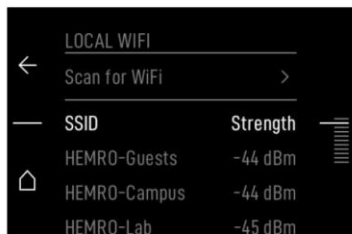


図23: Wi-Fiスキャンページ

2.6.2 クラウド設定:

活性化:

クラウド接続を有効にします。クラウドが有効になると、アイコンが

ホーム メニューのステータス アイコンに表示されます。

インターネット アラートをポップアップで表示:

インターネット接続が利用できない場合は警告を表示します。

新しい更新をダウンロードしてインストールするためのアラートを表示します。

2.6.3 マシン対マシン: (グラインダーとSync Scaleを接続する場合には不要)

このメニューから、デバイス間のクラウド通信のオン/オフを切り替えることができます。

ステーションIP (番号):

IP アドレスはネットワーク上のデバイスを識別します。この番号は、第 4 章で説明されているように、Web ユーザー インターフェイス経由でデバイスにアクセスすることもできます。

2.7 ユーザー管理

このメニューでは、この文書に添付されているロジックツリーでハイライト表示されている所有者または技術者の機能にアクセスすることで、デバイスへのアクセスを変更できます。メニューは図15のように表示されます。「i」アイコンは、デバイスへの現在のアクセス モードを示します。

メニューには次の機能があります。

ログイン:

別のユーザーモードでログインしてください。利用可能: オーナー、技術者

パスワードを変更する:

所有者または技術者としてログインしている場合は、パスワードを新しいものに。

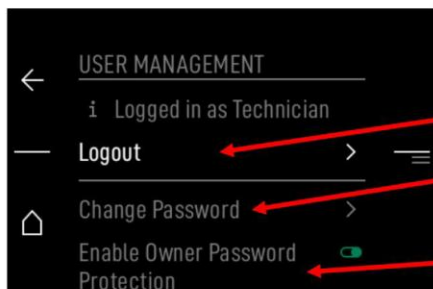


図 24: 所有者モードでのユーザー管理メニュー。

ログイン ログアウト別のユーザー モードでログインします。

パスワードの変更所有者としてログインしている場合、または技術者はパスワードの変更を許可します新しいものに。

所有者のパスワード保護を有効にするパスワードなしで設定を変更するオプションを制限します。

2.8 情報

このメニューでは、さまざまな種類の情報をディスプレイに表示できます。

マシン情報（ハードウェアバージョンコード、ソフトウェアバージョンコード、電子SNコード）

2.8.1 製造日:

組立日（日付）

2.8.2 統計:

（日付）以降

統計をリセット（リセット）

本日のショットグラウンド（ユニット）

ショットグラウンド合計（ユニット）

本日の重量（kg）（重量値（kg））

Kg 地上合計（重量値（kg））

2.8.3 レシビ統計:

他の：

カウント（数値）

期間の合計（時間（d/h/m/s））

平均所要時間（日/時/分/秒単位の時間）

2.8.4 重量ベース:

DD（ミクロン単位の値）

カウント（カウント）

継続時間の合計（時間（d/h/m/s））

平均所要時間（日/時/分/秒単位の時間）

2.8.5 マニュアルベース:

DD（ミクロン単位の値）

カウント（数値）

継続時間の合計（時間（d/h/m/s））

平均所要時間（日/時/分/秒単位の時間）

2.8.6 時間ベース:

DD（ミクロン単位の値）

カウント（数値）

継続時間の合計（時間（d/h/m/s））

平均所要時間（日/時/分/秒単位の時間）

2.8.7 グラインダー統計:

モーター稼働時間（日/時/分/秒単位の時間）

稼働時間（日/時/分/秒単位の時間）

バーラントタイム（時間（d/h/m/s））

バーヘルス（完了バー）

オン/オフサイクル（カウント）

オートバイ（台数）

2.9 アラートと通知:

アクティブアラート:

保留中のアラートを報告します。

過去のアラート:

アラート履歴を報告します。各アラートには、黄色または赤色で重要度を示すアイコン、原因を示すタイトル、報告日時、そしてエラーの意味を説明するエラーメッセージが表示されます。

ショットログ:

レシピの使用中に実行された操作を追跡するリストを報告します。

エラーログ:

使用中に実行された操作を追跡するリストを報告します

サービスログ:

使用中に実行された操作を追跡するリストを報告します

3 Webユーザーインターフェース - 機能

Web ユーザー インターフェイスにアクセスするには、グラインダーをアクセス ポイントとして使用する方法と、グラインダーをステーション モードとして使用する方法の 2 つの方法があります。

アクセスポイント: ノートパソコンなどのデバイスを接続できる独自のネットワークを作成できます。このモードでは、外部Wi-Fiネットワークがなくてもデバイスを使用できます。

ステーションモード: デバイスが外部ネットワークに接続できるようにします。このモードでは、インターネット接続を切断することなくWebユーザーインターフェースを使用できます。

3.1 グラインダーを既存のネットワークに接続する（ステーションモード）

下ボタンでメインメニューを選択します。ホイールを回して「接続」までスクロールし、選択します。このメニューオプションは、オーナーまたは技術者としてログインしている場合にのみ表示されます。接続メニューで、図25に示すように「WiFi設定」を選択します。

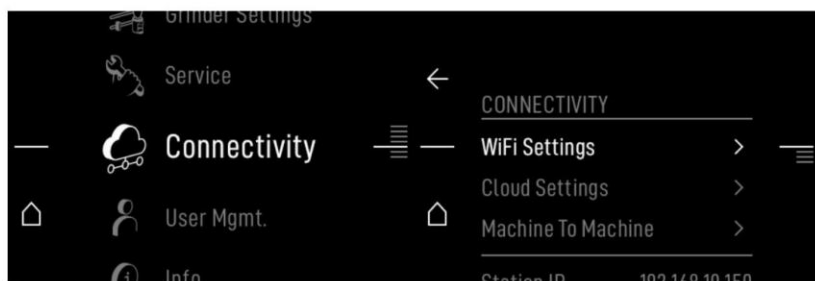


図25: WiFi設定メニューにアクセスする方法

標準的な手順では、使用前にWi-Fiをリセットする必要があります。リセット後、Wi-Fiを有効にするオプションが有効になります。

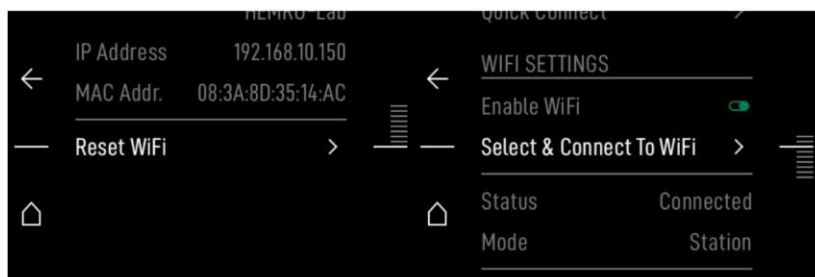


図 26: WiFi をアクティブ化するための標準的な手順。

「Wi-Fiを選択して接続」オプションを使用すると、デバイスをお好みのWi-Fiネットワークに接続できます。ネットワークに接続すると、図に示すページがディスプレイに表示されます。ここには、接続しているネットワーク名、IPアドレス、MACアドレスが表示されます。



図27: Wi-Fiの詳細情報画面

このアドレスを使用すると、「Web ユーザー インターフェイス」セクションで説明されているように、Web ユーザー インターフェイスにアクセスできるようになります。

3.2 グラインダーをデバイスに接続する（アクセスポイントモード）

Wi-Fiをリセットすると、デバイスはデフォルトでアクセスポイントモードになります。このモードでは、グラインダーが独自のWi-Fiネットワークを生成できます。ネットワーク名はHemroNg2-XXXXXXです。XXXXXXはデバイスのHMIのシリアル番号で、情報セクションに表示されます（2.8 情報を参照）。パスワード「kingxxxx」（xxxxはHMIのシリアル番号の最後の4桁）を使用してデバイスに接続できます。グラインダーによって生成されたWi-Fiに接続すると、Webユーザーインターフェース（次の章）にアクセスできるようになります。



図28: グラインダーのWi-Fiに接続する

3.3 Webユーザーインターフェース

Wi-Fiに接続すると、デバイスにIPアドレスが割り当てられます。このアドレスでWebサイトにアクセスできるようになります。デバイスとの通信やソフトウェアアップデートを行うためのインターフェースです。IPアドレスは、グラインダーの接続メニューの最後の項目に記載されています。

次に、下の図に示すように、Web ブラウザの検索バーに IP アドレスを入力する必要があります。

まずセキュリティページに移動し、「詳細」をクリックし、「IPへ進む」をクリックすると、Webユーザーインターフェースのアクセスページが表示されます。このページには2つのパネルがあり、1つはログイン用、もう1つはQRコード経由でWebページにアクセスするためのパネルです。ログインページでは、ショップオーナーと技術者間のアクセスモードを選択できます。ショップオーナーと技術者のパスワードは、ユーザープロフィールに記載されています。

ブラウザのアドレスバーに IP アドレス（https// なし、「10.112.51.180」のみ）を入力すると、ブラウザでその IP アドレスへの接続の確認が求められる場合があります。

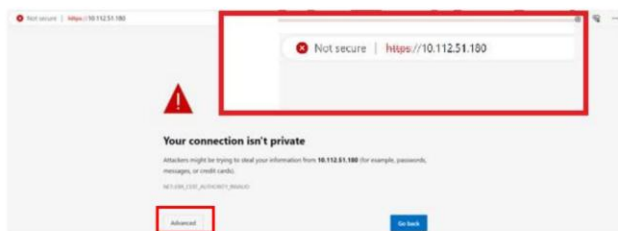


図29: Webインターフェースログイン (Google Chrome推奨)

この確認は、「詳細」と「続行...」から行うことができます。



図30: Webインターフェースのアクセス確認

Login

User Role

Password

TECHNICIAN

1311

LOGIN

図31: Webインターフェースログイン

注 Web UIの詳細については、このドキュメントでは説明していません。これは熟練した技術者およびサポート担当者向けの情報です。グラインダーの設定を誤って行くと、グラインダーの電子機器に永久的な損傷を与える可能性があります。

3.4 ソフトウェアアップデート

グラインダーがクラウドに接続されている場合は、新しいバージョンが利用可能になるとソフトウェアを更新するように求められます。

クラウドに接続されていないグラインダーの場合は、Webインターフェース経由でアップデートできます。手動でアップデートする場合は、アップデートファイル(.swu)が必要です。このファイルはMahlkönig製品ウェブサイトから入手できます。

1. アップデートファイルをダウンロードし、デバイス（ノートパソコンまたはモバイル）に保存します。
2. グラインダーに接続し、3.3で説明したようにウェブインターフェースを開きます。
3. 「ファームウェアアップデート」セクションに移動し、ダウンロードした.swuファイルを選択します。

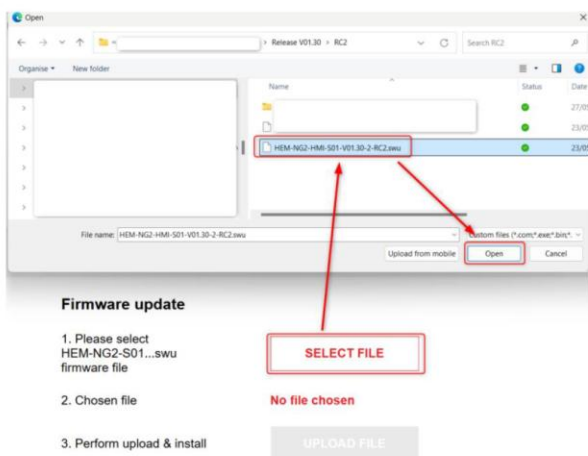


図32: Webインターフェースにソフトウェアファイルをロードする

次に、ファイルをグラインダーにアップロードして更新プロセスを開始します。

Firmware update

1. Please select HEM-NG2-S01...swu firmware file
2. Chosen file
3. Perform upload & install



図33: .swuファイルをグラインダーにアップロードする

4. アップデートには約5〜10分かかります。ステータスの更新はWebインターフェースに表示されます。そしてグラインダーで。

アップデート後、デバイスが再起動するとグラインダーとの接続が失われます。

3.5 テストページ

サービスパネルに移動します。テストを開きます。

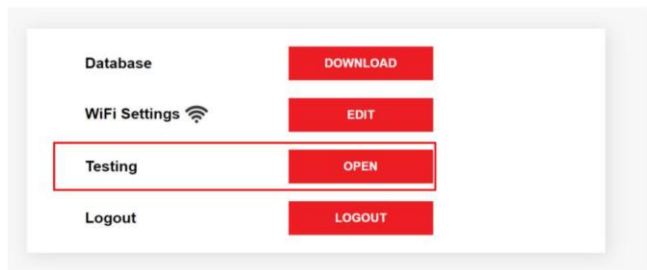


図34: サービスパネル

次のページが表示されます。ここで現在の体重を監視できます。これはWi-Fi信号の監視にも役立ちます。

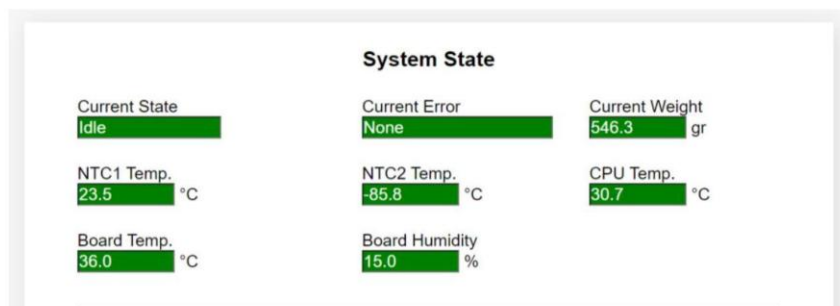


図35: 監視ページ

4つのインタラククションアイコン

インタラククション アイコンは、インタラククション ボタンの機能を表示するために使用されます。



レシピパネルには、保存済みの様々なレシピが表示され、選択できます。ジョグダイヤルを回すことで、表示されているレシピ間を移動できます。

ジョグダイヤルを1回クリックすると、ディスク距離調整に入ります。

ジョグダイヤルをダブルクリックすると、量の調整（グラムまたは秒）が入力されます。



左上のボタンを押すと、オンデマンドグラインドが起動します。タップの持続時間は「グラインダー設定」の「バージ値」で設定できます。長押しすると、ボタンを離すまでグラインドが継続されます。



メインメニューには左下のボタンからアクセスできます。

レシピアイコン

レシピ アイコンは、選択したレシピに関するすべての重要な情報を表示するために使用されます。



水平線は、選択したレシピにおけるディスク間の距離とその基準値を示し、0~300ミクロンの範囲をカバーします。レシピDD（ディスク距離）は、有効になっている場合にのみ表示されます。



ディスク距離: 灰色の線と値はディスク距離の現在の位置を示し、白い線と値はレシピに保存されたディスク距離を示します (有効な場合)



選択したレシピの主なパラメータを表示します。GbW モードの場合は重量、GbT モードの場合は時間です。

ステータスアイコン

メインメニューの下部にあるアイコンはステータスアイコンです。グラインダーの全体的な状態に関する情報を提供します。



HMI ボード上で測定された温度を表示します。



クラウド接続のステータスを表示します



Wi-Fi接続の強度を表示します

メニューナビゲーション

ディスプレイボタンを使って、クイックメニューとメインメニューを移動できます。各ボタンには、それぞれの機能を示す様々なアイコンが関連付けられています。以下に、ナビゲーションアイコンとその意味を示します。



左下のボタンに関連付けられたアイコンをクリックします。ホームメニューに戻ります。



左上ボタンに関連付けられたアイコン。前のサブメニューに戻ります。



左下のボタンに関連付けられたアイコン。次の/前の数字または文字を選択します。



ジョグダイヤルに関連付けられたアイコン。ジョグダイヤルを回すと、さまざまな項目を選択できます。

インタラクションツール

メニューには、数値、英数字コード、またはスイッチの状態など、値を変更するために使用されるツールがいくつかあります。このセクションでは、これらのインタラクションツールについて説明します。

キーボード

キーボードの例は、図 32 に示すとおりです。これは、パスワードを入力し、技術者や所有者に制限されている機能にアクセスする場合に使用します。

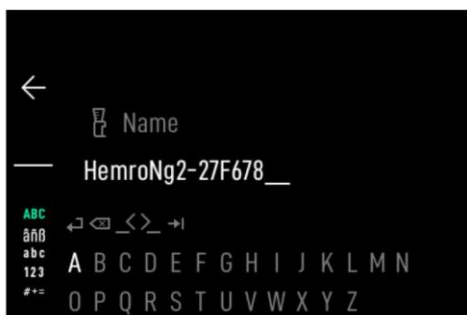


図 32: キーボード ツール。

アイコンの意味は以下の通りです。



パスワードを入力してください。



最後の文字を削除します。



カーソルを文字列の末尾に戻す



大文字キーボードを文字で開く

特殊文字キーボードを開く

文字付きの小文字キーボードを開く

数字キーボードを開く

記号キーボードを開く

数値の変更

ジョグダイヤルを回すことで数値を変更できます。最後の桁を増減することで値を修正できます。ジョグダイヤルを押すと変更が保存されます。

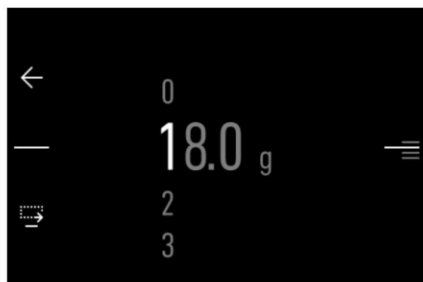


図 33. ジョグダイヤルを使用して値を設定する。

アイコンを有効にする

スイッチは通常アイコンで表され、機能のオン/オフを切り替えるために使用されます。ジョグダイヤルを押すことでスイッチの状態を変更できます。